



9月22日  
郡コミセン

# 東日本大震災支援報告会

## を開催しました



市役所  
福江 豊さん



市役所  
城代 俊明さん



陸上自衛隊  
松岡 博文さん



陸上自衛隊  
松元 直樹さん



海上自衛隊  
森下 亮さん

東日本大震災の被災地支援のため職員を派遣した、陸上自衛隊、海上自衛隊、市役所の派遣経験職員による支援報告会を郡コミセンで行いました。報告会では、震災直後の様子や支援活動を行う写真などを展示しながら、支援の状況などを説明しました。会場に集まった約120人の皆さんは、熱心に耳を傾け、災害のすさまじさを実感し、防災への心構えを新たにしました。

### 東日本大震災復興支援チャリティーアルバム 「勇気」～BRAVE～ ～市民による復興支援活動～



10月4日、松本市長を表敬。「ORANGE」の3人組が作詞・作曲した「同じ空の下で」を披露しました。

市内でバンド活動を行っている小・中・高校生で結成したユニットの皆さんが、被災地の子どもたちを応援するメッセージソングなどを収録したアルバムをリリースしました。このアルバムは、被災した3県をはじめ、県内の児童館やメディアなど約500か所に無料配布されます。

<http://www.tentama.info>



がんばろう！日本

長  
市  
コ  
ラ  
ム

vol.3

あの「東日本大震災」から7か月。いまだ多くの皆さんが避難生活を続けておられるなど、被災を受けた方々の生活は元には戻っていません。

海上自衛隊第22航空群、陸上自衛隊大村駐屯地、竹松駐屯地は、大震災の翌日からいち早く被災地へ赴き、行方不明者の捜索や人命救助活動など、さらには、大村部隊の音楽部による避難所での慰問演奏などを行われました。被災地でのそれぞれの活動を報告いただくとともに、被災者の健康相談などさまざまな支援活動を行った市職員も活動状況の報告を行いました。

今回の報告で感じたことは、自衛隊の方が現地を見て「言葉が出なかった。」と言われたように「想像を絶する出来事」が目の前で展開されていたということです。そして、そうした状況下でも自衛隊の方々が、被災者が一番望むことを身を粉にして全力で取り組まれ、被災地の皆さんに大変感謝をされているということに非常に感銘を受けました。大村市にこれら自衛隊の3部隊があるということは、大変心強く誇りに思います。

市としても、被災地の復興支援については、今後でもできる限りの支援を続けてまいります。1日も早く被災地が復興し、被災者の皆さんに平穏な日々が戻りますことを心からお祈りいたします。

ところで、先目市内の子どもたちが自分たちで作詞作曲した「東日本大震災応援メッセージソング」を被災地に送るといふことで、市役所に報告に來られ、その歌を披露されました。その詞の一部分をご紹介します。

「どんなにどんなに はなれていても 同じ空の下で みんなが こころを ひとつにすれば がんばれる」子どもたちが、自分たちで作った歌を自分たちで演奏し、元気に歌ってくれる。そして被災地の人たちにメッセージとしてCDを送ってくれることで東日本の人々へ勇気と元気が届くに違いないと考えています。そんな大村の子どもたちに感謝し、頼もしさも感じたひとときでした。